

# 全学分野横断創生プログラム

Niigata university **I**nterdisciplinary **C**reative **E**ducation Program  
(NICEプログラム)

新潟大学 副学長（学務担当）  
教育・学生支援機構 副機構長  
福島治

## 全学分野横断創生プログラム 令和3年度

メジャー・マイナー制 → 新潟大学の新しい教育プログラム

### 導入背景：新潟大学の教育改革

H16年度 全学科目化

H17年度 「副専攻制度」と「分野・水準表示法」の導入

H18年度 主専攻プログラム化

H23年度 NBAS（学士力アセスメントシステム）

H27年度 大学教育再生加速プログラム（AP）COC+

H29年度 創生学部設立

R2年度 経済科学部のモジュール制

## 新潟大学における新しい教育プログラム

1 文系×理系の垣根を越える  
分野横断の学びの実現!

2 社会課題を発見・解決  
できる人材育成!

3 アドバイザーが4年間  
サポートするから安心!

Niigata University  
Interdisciplinary  
Creative  
Education Program

【ナイス】  
**プログラム**

全学分野横断創生プログラム

メジャー・マイナー制

3

教育の質を保证する主専攻プログラムと幅広い学びを実現する副専攻プログラム

**主専攻**

全学の理念「自律と創生」に基づいた、特色ある2つの主専攻プログラム

大学に入學すると、自分の夢の実現のために、所属する学部が提供する学位プログラムのもとで学ぶことになります。新潟大学では、教養教育と専門教育が融合した学生主体の「到達目標達成型プログラム」と、「到達目標創生型プログラム」を提供しています。特色ある2つのプログラムで社会の諸問題に対して的確に対応でき、課題解決のために広範に活躍できる人材を育成します。

到達目標達成型プログラム

対象学部：人文学部、教育学部、法学部、経済科学部、理学部、医学部、歯学部、工学部、農学部

- 人文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済科学部
- 理学部
- 工学部
- 農学部
- 医学部医学科
- 医学部保健学科
- 歯学部

入学 → 卒業

専門性  
教養

## 新潟大学の教育プログラム これまでは 「主専攻」と「副専攻」

**副専攻**

新潟大学では、意欲ある学生が複数の分野にわたって体系的に学ぶことができる「副専攻プログラム」を導入しています。これは、学位プログラムで学ぶ領域以外の部分での学修成果を「目に見えるもの」として認定するものです。深部副専攻（13プログラム）、分野別副専攻（7プログラム）合わせて20のプログラムが用意されています。

もっと学びたい人へ  
**+αの  
高い価値**

例えば、工学部 機械システム工学を学んでいる場合

工学部 機械システム工学 + (分野別副専攻) 法律学 = 法律に詳しいエンジニア

主専攻プログラム + 副専攻プログラム = 学士(工学)の学位 + 副専攻認定

4

## 新潟大学のこれからの教育プログラム 「メジャー・マイナー制」

主専攻プログラム 124単位\*

### メジャー

各プログラム指定の単位数  
人文60、法16～76、経済科学75～80、  
教育80～96、理84、農85、工82、創生  
46、[医186.5(229.5)、保健93、歯  
152(191)、口腔生命福祉116(145)]

×

### マイナー

学修創生型マイナー  
(モジュールを使用)  
パッケージ型マイナー  
(科目リストを使用)  
**12単位以上**

オナーズ型  
マイナー  
(旧副専攻  
プログラム)  
24単位以上

### 学士リテラシー

語学・アカデミックライティング・データサイエンス (新しい読・書・算)

\* 免許取得  
学部を除く

「人文学部」の例	
項目	単位数
専門教育に関する授業科目	60単位
全学共通教育科目(リテラシー科目) (英語、初修外国語、大学学習法等)	29単位
自由選択科目 (人文社会学系科目、自然科学系科目等)  ⇒ 学修創生型マイナーとして科目選択 (モジュールを使って12単位以上)  or ⇒ マイナー学修パッケージ (科目リストから12単位以上)	35単位
卒業要件単位	124単位

科目区分	単位数	摘要
英語	12	英語2単位及び一つの初修外国語8単位を含むものとする。
初修外国語		
健康・スポーツ	1	体育実技の授業科目から1単位を修得する。
新潟大学個性化科目	2	「キャリアデザイン」及び表現プロジェクト演習の中から1科目2単位を修得する。
大学学習法	2	「人文初年次演習」1科目2単位を修得する。
情報リテラシー	4	
自然系共通専門基礎		
自然科学		
医学		
人文社会・教育科学	8	
英語、初修外国語、健康・スポーツ、情報リテラシー、新潟大学個性化科目、留学生基本科目、大学学習法、自然系共通専門基礎、自然科学、人文社会・教育科学、医学(以下「自由選択」とする)	12	
計	41	
専門教育に関する授業科目	6	「人文入門」1科目2単位を含むものとする。
基礎講義・実習・研究法	18	実習(「博物館実習」は除く。)及び研究法の授業科目2単位を含むものとする。
基礎演習		所属する主専攻プログラムにおいて指定する授業科目2単位を含むものとする。
発展講義	11	所属する主専攻プログラムにおいて指定する授業科目6単位を含むものとする。
発展演習	12	所属する主専攻プログラムにおいて指定する授業科目8単位を含むものとする。
卒業論文	10	
計	60	
全学共通教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目	23	
合計	124	

人文学部規定

## 令和3年度 副専攻（マイナー、12単位以上）

### 学修創生型マイナー

モジュールを使った自己選択方式  
アカデミック・アドバイザーの指導のもと、R3年度1, 2年生から

### パッケージ型マイナー

アグロ・フードアソシエーツ  
ことづくり・マネジメント  
コミュニティ・マネジメント  
データサイエンス・リテラシー

新潟創生人材育成プログラム  
(COC+成果継承、R3年度1年生から)

DS人材育成 (R3年度1年生から)

領域学修基礎パッケージ

到達目標創生型学修の促進  
(創生学部成果継承、R4年度開始予定)

## 「学修創生型マイナー」

### 1. 分野横断デザイン（必修1単位）

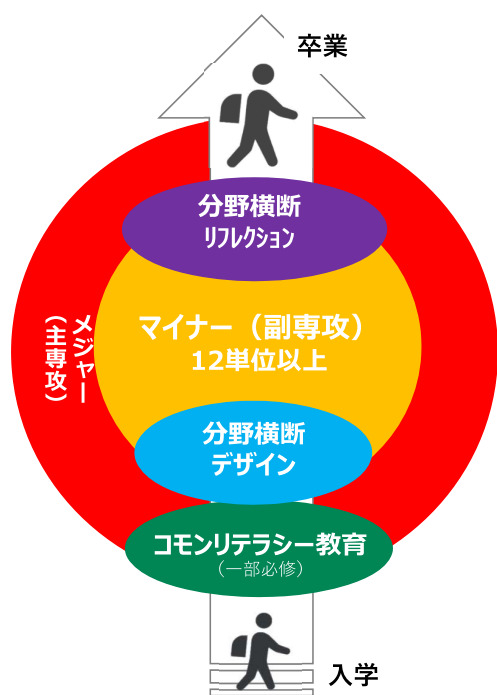
入門科目で1年次生が受講する。学生の所属学部における主専攻プログラムの選択とマイナーの選択を科目担当教員がアカデミック・アドバイザーとして支援し、本プログラムの学修計画を学生が自らデザインする。

### 2. 分野横断リフレクション（必修1単位）

集大成科目で4年次生が受講し、分野横断的な学修成果を学生自身が自らの言葉で説明できるようにする。「文理複眼」の視野に関する学修を測定するための成果物として、学生はリフレクションレポートを作成し、教員はルーブリックを用いて評価する。

### ※アカデミック・アドバイザー

分野横断的な学びを実現するための組織的支援であり、学生のこれまでの学びの達成度をアセスメントし、大学4年間の学びのデザインを支援する。リメディアル科目の履修や学内の教育リソース（ピアチューターによる学修支援やTA制度、オンライン学習教材）に導き分野横断の学びを支援する。



## 学修創生型マイナー

### モジュールの例

モジュール名	授業科目	モジュール修了条件	分野
経済学基礎モジュール	入門ミクロ経済学 入門マクロ経済学 入門社会経済学	全ての授業科目の単位修得（6単位）	経済学
企業経営・会計基礎モジュール	経営学概論I 経営学概論II 会計学概論I 会計学概論II	全ての授業科目の単位修得（8単位）	経営学・会計学
日本学基礎モジュール	Introduction to Interdisciplinary Japanese Studies 文化社会論基礎 映像社会論基礎 経済社会論基礎 政治社会論基礎 文字文化史と表現	Introduction to Interdisciplinary Japanese Studiesを含む4科目の単位修得（8単位）	日本学

アカデミック・アドバイザーの指導を受けながら、  
**モジュール**を使った体系的な履修科目の編成を実現

9

## 学修創生型マイナー

### モジュールの例

モジュール名	授業科目	モジュール修了条件	分野
心理学基礎モジュール	心理学概論A／心理学概論B 心理学研究法／心理学統計法	全ての授業科目の単位修得（8単位）	心理学
人間学基礎モジュール	人間学研究法A／人間学研究法B 哲学概説／人間学概説 西洋哲学史概説／宗教学概説 芸術学概説A／芸術学概説B	人間学研究法Aおよび人間学研究法Bを含む4科目の単位修得（8単位）	人間学
歴史学基礎モジュール	史学概説／日本史概説 アジア史概説／西洋史概説	全ての授業科目の単位修得（8単位）	史学
ロシア言語文化学基礎モジュール	西洋言語概説／西洋文化概説 ロシア言語文化概説A ロシア言語文化概説B	全ての授業科目の単位修得（8単位）	文学・言語学
法律学基礎モジュール	人文社会科学入門（法学） リーガル・システム／憲法I 民法I／刑法I	全ての授業科目の単位修得（10単位）	法律学

他に、社会学、地域資料論、メディア論、博物館学、言語学、日本語学・日本文学、中国言語文化学、朝鮮言語文化学、東アジア言語文化学、英語・英米文化学、ドイツ言語文化学、フランス言語文化学

10

## パッケージ型マイナーの例

**目指す人材像**

新潟県及び新潟市を初めとする県内各市町村の産業や暮らしの改善に関心をもち、地域に潜む課題解決や地域活性化及び産業振興に積極的に関与できる人材を本プログラムにおける新潟創生人材とする。

その中でも「食・農と社会の関係性を科学的な視点で理解する素養を持った人材」の育成を目指す。

**ことづくり・マネジメントプログラム**

これからの製造業には、生産性や技術力の向上、そして産官学のあらゆる資源を有機的に結合したイノベーション、すなわち、従来の「ものづくり」から「ことづくり」への産業構造の発展による新規産業の創出が求められる。このような背景を理解し、特に地域製造業に関連した「地域経営」を担うべき人材の育成を目指す。

**コミュニティマネジメントプログラム**

地震や風水害、雪などの自然災害や災害と折り合いをつけながら生活を築き、維持・発展している新潟で活動する人たちに学び、地見し磨き育て上げる力、自動的・考え合わせながら人と人をつととのできる力を有する、コミュニティネーター、災害ボランティアネーターの素養を持った人材育成を目指す。

**認定条**

**【実践科目】から4単位以上**

様々な社会的資源を活用することで、新潟地域における農と食に関連する課題を発見し、具体的な解決手段として提案する力を実習形式により修得する。

**【実践科目】から2単位以上**

企業等におけるインターンシップ、またはPBL型科目等で、事前学習、実習、成果発表の一連のプロセスを経ることで、社会や企業等の組織に存在する課題を発見し、課題解決に向けた提案能力およびチームワークリーダーシップの基礎を修得する。

**【ボランティア開発論Ⅰ・Ⅱ】コミュニティ開発論Ⅰ・Ⅱ 計8単位必修**

上記科目を学ぶことで、行うための基本的なスキルを育成し、高める。

**【食関連科目】から4単位以上**

ヒトにとって不可欠な「食」を科学的に考察するための基本知識を修得する。「食」を軸に、その素材の育成過程である「農」、目的に従って加工、分析、評価する技術、生命科学の基本を修得する。

**【地域社会と経済・経営関連科目】から4単位以上**

ものづくりが社会の発展に寄与する道徳と環境のあり方を理解し、法律、政治、経済等、社会における人の営みを把握、理解、分析することで、「ものづくり」を「ことづくり」に発展させる基本的考え方を修得する。

**【新潟地域志向科目】地域入門・地域研究以外から4単位以上**

上記科目を学ぶことで、多角的視点を修得する。

### 別紙3 (C) : 地域社会と経済・経営関連科目 (4単位以上)

細区分	科目名	単位	経済学	租税理論Ⅰ	2
経済学	経営学概論Ⅱ	2	経済学	経営税務論Ⅰ	2
経済学	経営学概論Ⅰ	2	経済学	行財政入門	2
経済学	簿記入門	2	経済学	日本経済入門	2
経済学	企業分析入門	2	経済学	入門ミクロ経済学	2
経済学	経営戦略論Ⅰ	2	経済学	入門マクロ経済学	2
経済学	経営戦略論Ⅱ	2	工学	ビジネス統計学	2
経済学	経営組織論Ⅰ	2	工学	経営管理と社会的責任	2
経済学	経営組織論Ⅱ	2	工学	企業会計基礎	2
経済学	財務会計論Ⅰ	2	工学	マーケティング基礎	2
経済学	財務会計論Ⅱ	2	工学	アントレプレナーシップⅡ	2
経済学	人的資源管理論Ⅰ	2			

### 別紙4 (D) : 実践科目 (2単位以上)

企業等におけるインターンシップ、またはPBL型(課題解決型学習)

科目等

細区分	科目名	単位	工学	国際マーケット・グループワーク・インターンシップB	3
工学	課題解決インターンシップⅠ	2	工学	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップA	2
工学	課題解決インターンシップⅡ	2	工学	国際テクノロジー・グループワーク・インターンシップB	3
工学	課題解決インターンシップⅢ	2			
工学	マーケット・インターンシップ	2			
工学	国際マーケット・グループワーク・インターンシップA	2			

## 「環境学」

## オナーズ型マイナーの例

### ■プログラムの名称「環境学」

<b>概要</b>	環境問題は、地球システムの認識に始まり、社会の経済活動に至る多様な分野に関わる問題である。本専攻では、主に理工農など自然科学部開設科目を活用して、幅広い分野に渡る環境問題への基礎理解を促すプログラムを提供する。
<b>ねらい</b>	自然科学の諸分野(理学、農学、工学)で、「環境」がどのように取り扱われているかを理解する。また、人文社会学系列の分野で、「環境」がどのように取り扱われているかを修得する。環境問題の本質を理解し、これらの問題を解決出来る能力を備えることをねらいとしている。
<b>到達目標</b>	1. 倫理学、経済学、法学基礎知識に基づいて環境を考えることができる。 2. 生活者の視点と地球規模の視点の両面で環境を捉えることができる。 3. 複数の環境問題について、複合的視点で議論することができる。 4. 複数の自然科学分野の基礎に立って、科学的視点で環境問題を考えることができる。
<b>認定条件及び評価の方法</b>	○湯川 靖彦 副専攻 委員会委員 中田 誠 吉川 夏樹 林 八寿子
	<p><b>【各プログラム共通の認定条件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本専攻プログラムの「入門科目」を、「第3年次末」までに履修し、その単位を修得していること。</li> <li>卒業時の総修得単位数が、所属する学部の卒業要件単位数に「12単位」以上を加えたものであること。</li> <li>本専攻プログラムが定めた授業科目から「24単位」以上を修得していること。</li> <li>卒業時の全科目のGPAが、「2.5」以上であること。</li> </ul> <p><b>【各プログラム独自の認定条件等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>属性区分「A」、「B」、「C」の科目から、それぞれ「2科目」以上を修得していること。</li> <li>コア科目中必修科目を含んだ、「12単位」以上を修得していること。</li> <li>コア科目のうち、属性区分「A」、「B」、「C」の科目から、それぞれ「1科目」以上を修得していること。</li> <li>「環境生物学野外実習C」、「環境学実習」のうち、いずれか「1科目」を修得していること。</li> <li>理学部自然環境科学科、農学部生産環境科学科、工学部建設科学科の学生は、本プログラムによる副専攻認定は行わない。(ただし、それらの学生の聴講を妨げるものではない。)</li> </ul>

### ■授業科目リスト (掲載されている学期・曜・限は変更される場合があります。)

属性区分 R: 必修科目/A: 人文社会・教育学系科目/B: 工学系・農学系科目/C: 理学系・農学系科目/D: 理学系・農学系科目/E: 工学系・農学系科目/F: 工学系・農学系科目/G: 工学系・農学系科目/H: 工学系・農学系科目/I: 工学系・農学系科目/J: 工学系・農学系科目/K: 工学系・農学系科目/L: 工学系・農学系科目/M: 工学系・農学系科目/N: 工学系・農学系科目/O: 工学系・農学系科目/P: 工学系・農学系科目/Q: 工学系・農学系科目/R: 工学系・農学系科目/S: 工学系・農学系科目/T: 工学系・農学系科目/U: 工学系・農学系科目/V: 工学系・農学系科目/W: 工学系・農学系科目/X: 工学系・農学系科目/Y: 工学系・農学系科目/Z: 工学系・農学系科目

分類	属性	開講番号	授業科目名	単位	学期	ターム	曜限	形式	授業担当者	所属	分野	水準
1	コア	R	2009G001 環境学入門【入門科目】	1	第1学期	第1・2ターム	木H・T	講義	湯川 靖彦・他	自然科学系(理)	99	03
2	コア	R	2009Q003 環境学実習	1	第2学期	第3・4ターム	水H・T	実習	本間 航介	自然科学系(農)	99	05
3	コア	R★	2009Q002 環境学実習	1		集中講義		実習	中田 誠・他	自然科学系(農FO)	99	04
4	コア	R★	204S6532 環境生物学野外実習C	1	第2学期	第4ターム	他	実習	安東 宏徳・他	卒業自然共生科学センター	57	14
5	コア	A	201G17010 環境学実習	2	第1学期	第1ターム	月・木3	講義	栗原 隆	非常勤講師	28	03
6	コア	A	200S6521 環境経済システム論Ⅰ	2		集中講義		講義	芳 文慧・他	非常勤講師	36	04
7	コア	A	204S7501 技術者倫理・自然環境関連法規	2	第2学期	第4ターム	月・木2	講義	真口 秀夫・他	自然科学系(農学部)	62	14
8	コア	A	201A0001 農業入門Ⅰ	2	第1学期	第1ターム	月1	講義	杉山 稔寛	自然科学系(農)	60	01
9	コア	B	200S6516 環境汚染論	2	第2学期	第3・4ターム	水1	講義	湯川 靖彦・他	自然科学系(理学部)	57	05
10	コア	B	202S7515 流域水文学	2	第1学期	第2ターム	水3・4	講義	Whitaker Andrew	自然科学系(農学部)	62	03
11	コア	B	203A0096 食料資源経済学	2	第2学期	第3ターム	火・金1	講義	古澤 慎一	自然科学系(農)	64	14
12	コア	B	203A0099 環境保全型農業論	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義	平泉 光一	自然科学系(農)	64	04
13	コア	C	201A0002 農業入門Ⅱ	2	第1学期	第1ターム	月2	講義	杉山 稔寛	自然科学系(農)	60	01
14	コア	C	200S6509 地質災害論	2	第2学期	第3・4ターム	火5	講義	久保田 真裕	自然科学系(理学部)	44	04
15	コア	C	204G6819 生物多様性A	2	第2学期	第4ターム	月・木3	講義	松田 衛志・他	自然科学系(理)	57	03
16	コア	C	200S0584 多様性生物学A	2	第1学期	第1ターム	他0	講義	前藤 光太郎	非常勤講師	57	04
17	コア	C	202S0585 多様性生物学B	2	第1学期	第2ターム	火・金3	講義	宮崎 勝己	自然科学系(理学部)	57	04
18	コア	C	201S0581 環境気象学	2	第1学期	第1ターム	火・金3	講義	本田 明治	自然科学系(理学部)	44	04
19	コア	C	200S6514 地球環境化学	2	第1学期	第1ターム	火・金2	講義	松岡 史郎・他	自然科学系(理学部)	46	05
20	関連	B	203S7524 環境メカニズム・影響学	2	第2学期	第3ターム	月・木2	講義	中田 誠・他	自然科学系(農学部)	62	04
21	関連	B	203A0025 肥料学	2	第2学期	第3ターム	水1・2	講義	木吉 邦	自然科学系(農)	61	04
22	関連	B	203S7511 森林再生学	2	第2学期	第3ターム	水1・2	講義	柴田 雅・他	自然科学系(農学部)	62	04
23	関連	B	204A0047 農村空間デザイン学	2	第2学期	第4ターム	月・木4	講義	埜田 孝代	自然科学系(農)	65	14
24	関連	C	204G6523 地球と気象	2	第2学期	第4ターム	火・金4	講義	本田 明治	自然科学系(理)	44	03
25	関連	C	200S0583 環境影響学A	2	第1学期	第1・2ターム	水2	講義	林 八寿子	自然科学系(理学部)	57	04

## 今後の課題 1

- 1) オンデマンドによるマイナーの提供  
→ キャンパス間の移動なしで履修可能にする
- 2) メジャーとマイナーの重複履修制限の明示  
→ メジャーとは異なる分野のマイナーを選択させる
- 3) 新たなモジュールの構成  
→ 理系モジュールが不足、モジュールの体系化
- 4) オナーズ型マイナーの整理  
→ マイナーの中での特色

13

## 今後の課題 2

- 5) 事業終了後のアカデミック・アドバイザーの役割  
→ 学部のアドバイザー制度でも対応できるよう学務情報システムで卒業生のマイナー履修情報を提供する
- 6) マイナー全学定着後の「分野横断デザイン」、「分野横断リフレクション」  
→ 前者は学部のガイダンス系入門科目、後者は卒業研究指導に組込む

14